



株主通信

第62期 中間報告書 2023.1.1 ▶ 2023.6.30

株式会社 ルックホールディングス

証券コード：8029

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの第62期第2四半期(2023年1月1日から2023年6月30日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」の基本理念のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

夕田和洋

当第2四半期(累計)実績

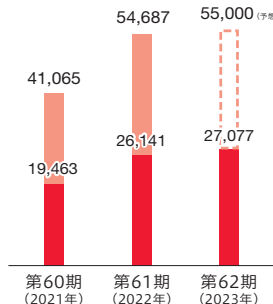
売上高	営業利益
270億77百万円	13億79百万円
前年同期比3.6%増	前年同期比20.5%減
経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
18億8百万円	11億53百万円
前年同期比11.6%減	前年同期比14.8%減

第62期(2023年)通期予想

売上高	営業利益
550億円	38億円
前年同期比0.6%増	前年同期比2.6%増
経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
41億円	28億円
前年同期比2.3%増	前年同期比5.1%増

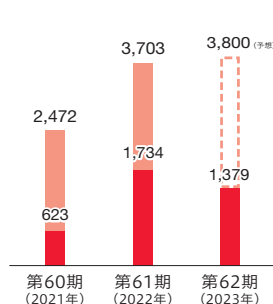
●売上高

(百万円) ■第2四半期(累計) ■通期



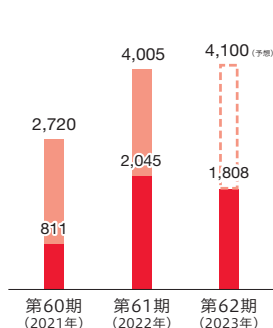
●営業利益

(百万円) ■第2四半期(累計) ■通期



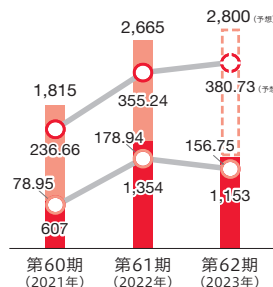
●経常利益

(百万円) ■第2四半期(累計) ■通期



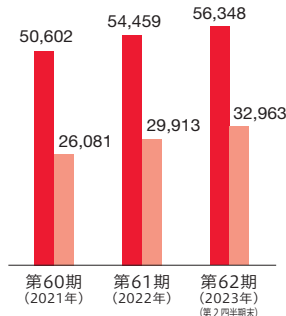
●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 / 1株当たり四半期(当期)純利益

(百万円) 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 ■第2四半期(累計) ■通期
(円) 1株当たり四半期(当期)純利益 ○第2四半期(累計) ○通期



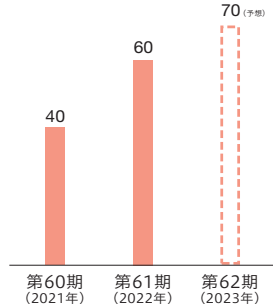
●総資産／純資産

(百万円) ■総資産 ■純資産



●1株当たり配当金

(円) ■期末



※2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、第61期、第62期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2022年12月期の期首より退職給付債務の計算方法について会計方針の変更を行っており、第60期に係る各数値については、当該変更を避及適用した後の数値となっております。

第62期第2四半期（累計）の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う規制が緩和され、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安による更なる物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、物価上昇の影響等による消費者の生活防衛意識が高まることが懸念されるものの、外出機会の増加や入国制限緩和に伴いインバウンド消費が伸長するなど、総じて回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、当事業年度を最終年度とする「中期経営計画」で掲げる重点政策に、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、継続的に取り組んでまいりました。EC事業の更なる強化策を推し進めるとともに、行動制限の緩和に伴い店舗販売にも注力してまいりました。また、不採算事業の終了など、徹底した効率経営にも努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は270億7千7百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は13億7千9百万円（前年同期比20.5%減）、経常利益は18億8百万円（前年同期比11.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億5千3百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業



「日本」につきましては、百貨店や直営店の集客が回復したことにより主力ブランドである「マリメッコ」が堅調に推移したことに加え、「A.P.C.」では、インバウンド消費の復調もあり売上高が増加いたしました。また、「スキヤピ」や「キース」において、外出機会の増加に伴いワンピースや羽織ジャケットなどの販売が順調に推移いたしました。EC事業では、自社ECサイトでの購入商品の店舗受取りサービス拡大やギフト商品及びラッピングサービスの充実、SNSによる発信を強化するなど、引き続きお客さまの利便性向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は119億9千4百万円（前年同期比1.3%増）、また不採算店舗の閉鎖を推し進めたことなどにより、営業利益は9億5千7百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディールック、株式会社アイディージャイにおいて、アウトレット店舗等でのセール販売が増えたことで売上高は増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は137億9千万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は7億6千5百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

「欧州」につきましては、主力の卸売事業が堅調に推移したことに加え、欧米やアジア等などからの観光客が回復基調にある小売事業についても順調に推移いたしました。その結果、

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ

当第2四半期連結累計期間の売上高は21億5千万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は1千3百万円(前年同期は1億1千1百万円の営業損失)となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、米国において「イル ビゾンテ」の小売事業、卸売事業とも売上高が増加した一方、採算性が悪化した香港、中国の事業を終了いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億5千9百万円(前年同期比33.8%減)、営業損失は3千6百万円(前年同期は4千9百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は280億9千5百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は16億9千9百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、外部受注は減少したもののグループ内への売上高が増加した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億9千万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は2千9百万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

売上高
構成比
3.7%

物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億9千1百万円(前年同期比

売上高
構成比
2.0%

0.8%減)、営業利益は1千8百万円(前年同期比25.5%減)となりました。

飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ルックが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、当第2四半期連結累計期間の売上高は6百万円(前年同期比76.5%減)、営業損失は6百万円(前年同期は1千3百万円の営業損失)となりました。なお、「ジェラテリア マルゲラ」は今後の採算性が見込めないため2023年4月をもって終了いたしました。

売上高
構成比
0.0%

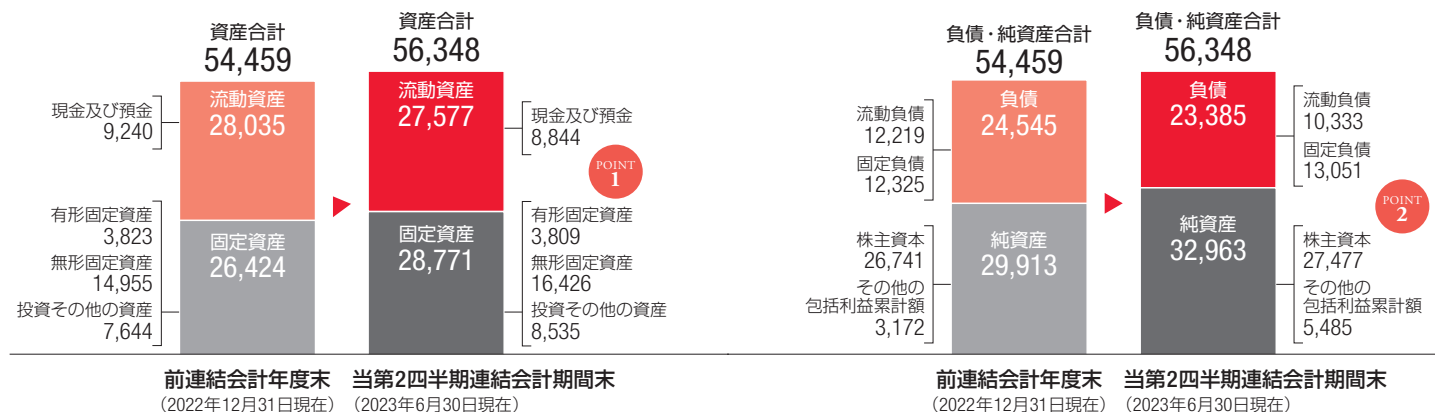
通期の見通しについて

2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、2月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。売上高550億円、営業利益38億円、経常利益41億円、親会社株主に帰属する当期純利益28億円を予想しております。

FINANCIAL STATEMENTS 四半期連結財務諸表

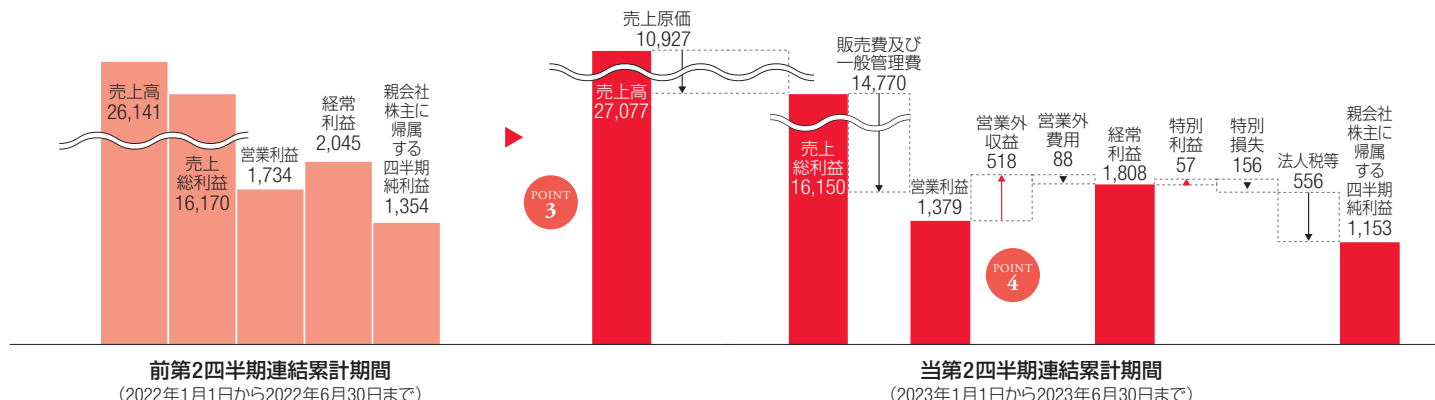
● 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)



● 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)



POINT 1 固定資産
マーケティング関連資産が円安による為替レートの変動に伴い増加したほか、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末に比べ23億4千6百万円増加しました。

POINT 2 純資産
利益剰余金の増加のほか、投資有価証券の時価増加などにより、その他の包括利益累計額が増加したことにより、前期末に比べ30億4千9百万円増加しました。

POINT 3 売上高
新型コロナウイルス感染症の規制が緩和されたことで、日本では百貨店や直営店の集客が回復し、海外においても小売事業、卸売事業ともに堅調に推移した結果、前年同期に比べ9億3千6百万円増加しました。

POINT 4 営業利益
売上高は伸長しましたが、主に韓国事業においてアウトレット等でのセール販売の増加に伴い、売上総利益率が低減したことなどにより、前年同期に比べ3億5千5百万円減少しました。

CORPORATE DATA …… 会社概要

会社の概要

2023年6月30日現在

商 号	株式会社ルックホールディングス
設 立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資 本 金	64億2,232万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従 業 員 数	1,028名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本 店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2023年6月30日現在

アパレル関連事業	
日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物 流 事 業	株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2023年6月30日現在

代表取締役社長	多田 和洋	常 勤 監 査 役	宇野澤博文
常 務 取 締 役	澁谷 治男	常 勤 監 査 役	水野 信之
取 締 役	斉藤 正明	社 外 監 査 役	服部 滋多
社 外 取 締 役	井上 和則	社 外 監 査 役	森居 達郎
社 外 取 締 役	秋葉 絢子		

- (注) 1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
 3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

STOCK INFORMATION …… 株式状況

株式情報

2023年6月30日現在

■発行可能株式総数	24,000,000株
■発行済株式総数	7,755,313株
■株主数	3,728名

株主メモ

事 業 年 度	毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事 務 取 扱 場 所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 https://www.look-holdings.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。

株主様アンケートご協力のお願い



株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

【所要時間5分程度】

2023年10月13日(金)締切

特典

ご回答いただいた方の中から抽選で、
200名様に「**QUOカード(500円分)**」
を進呈いたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
(2023年11月下旬発送予定)

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスください。



スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードから直接アンケート画面へ
アクセスいただけます。

※機種により使用できない場合がございます。

【個人情報の取り扱いに関して】

本アンケートにより得られた個人情報については、当社グループの商品・サービス・イベントに関するご案内、株主権行使や株式取引に関するご案内、その他株主様向けの広報活動充実のために使用させていただく場合がございます。その他、個人情報に関する取扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

kabu@takara-print.co.jp

平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号